

作業前は、『事前打ち合わせ』
周囲の安全確認、『逃げ場』の確保

作業は、周囲の安全と服装の点検・・・巻き込まれ注意

「慣れ」の作業に注意、安全確認を徹底しましょう

ベルトコンベアに挟まれ 男性作業員が死亡

詰まった石を取り除く作業中

2021/6/3(木) 20:24

3日午前11時前、新潟県の工場に勤務する男性（30）が「ベルトコンベアに挟まれた」と他の作業員から消防に通報がありました。

男性は頭を挟まれ、その場で死亡が確認されました。警察によりますと、当時男性はベルトコンベアに詰まった石を取り除く作業をしていましたが、何らかの原因でベルトコンベアが動き出し挟まれたということです。

この工場では、作業を2人1組で行っていますが、当時はもう1人の作業員がベルトコンベアのスイッチを操作するために作業場を離れていたということです。

とても多い労働災害のパターンです。

1人がスイッチを押して機械を起動したときに、まだ機械の中に人がいたことで巻き込まれたのです。

スイッチを押した人は、「回すぞ」と言ってから押したと思いますが、もう1人からの「いいぞ」の声を聞かずに押したのでしょう。

機械から出たと思って起動したが、出たことを確認していないのです。